

## ミニシンポジウム

# 「流域圏の物質輸送に関する実態評価の現状と課題」 ～陸域から内湾（湖沼）までを俯瞰的に理解する 第一回：微細土砂動態を通して～

主催：水工学委員会環境水理部会 / 水環境学会 ノンポイント汚染研究委員会

水系一貫土砂管理や統合的水質管理に代表されるように、流域全体にわたる土砂・栄養塩・有機物等の動態を把握・管理することにより、土砂管理問題や水質汚濁を抱える河川・内湾・湖沼やその流域の環境再生の取り組みが各地でなされています。これらにより、陸域（発生源）や河川（+地下水）、内湾・湖沼における物質動態・循環に関する知見やモニタリング技術、モデリング技術は着実に蓄積されつつあります。その一方で、流域全体で考えたときに、各エリア（陸域、河川・地下水、内湾・湖沼）における物質輸送の素過程やその全体像は統一的に語られることは少なく、物質循環・輸送の実態評価が各エリアで分断されている状況も散見されます。そのため、例えば、流域全体における分布型水・物質循環モデルと河道部の流動・物質循環モデルの中身は大きな隔たりがあることは否めません。また、最近注目されている海洋漂着ゴミのような新しい環境問題についても流域圏の視点から取り組む必要がありますが、現状ではそのような試みが始められたばかりです。

以上のことから、これまで得られた流域圏の物質輸送に関するエリア毎（陸域 河川・地下 内湾・湖沼）の実態評価の現状や今後の課題を把握することは重要と考えます。本シンポジウムでは、三回にわたり、物質輸送の対象を「微細土砂」（第一回）、「栄養塩・有機物」（第二回）、「ゴミ」（第三回）と変えて、各々の物質輸送を流域圏全体にわたり俯瞰的に議論致します。第一回「微細土砂」のミニシンポジウムの内容は以下の通りです。

日時：平成22年12月15日（水）13:00～17:00

場所：東京理科大学森戸記念館第一フォーラム（JR 飯田橋駅より10分程度）

（住所：東京都新宿区神楽坂4-2-2，詳しくは <http://www.tus.ac.jp/info/setubi/morito.html> 参照）

参加費：無料（定員100名）

参加申込・問合せ：東京理科大学理工学部土木工学科 二瓶泰雄

TEL：04-7124-1501（内線4031）

FAX：04-7123-9766

E-mail：nihei@rs.noda.tus.ac.jp

参加申し込みはE-mailでお願い致します。当日の参加も可能ですが、資料が不足してお渡しできない可能性があります。

<プログラム>

13:00～13:05 開会挨拶 井芹寧（環境水理部会長・西日本技術開発㈱）

13:05～13:15 趣旨説明 二瓶泰雄（東京理科大学）

**PART 1 陸域における微細土砂の発生・流出状況 司会：赤松良久（山口大学）**

13:15～13:45 古米弘明（東京大学）

「市街地からの懸濁汚濁物質の流出過程とその特性評価」

13:45～14:15 藤田正治（京都大学）

「山地における土砂生産と微細土砂の流出」

14:15～14:45 井上隆信（豊橋技科大学）

「農耕地からの懸濁物質の流出特性」

14:45～15:00 休憩

**PART 2 河川・沿岸・流域圏における土砂動態 司会：西田修三（大阪大学）**

15:00～15:30 横山勝英（首都大学東京）

「河川および汽水域における土砂動態」

15:30～16:00 岡田知也（国土交通省 国土技術政策総合研究所）

「沿岸海域における土砂動態」

16:00～16:30 中山恵介（北見工大）

「流域からの細粒土砂の輸送機構解明に向けて」

16:30～16:55 総合討論 司会：二瓶泰雄（東京理科大学）

16:55～17:00 閉会挨拶 井上隆信（豊橋技科大学）

以上.